

1回で合格!

日本語能力試験 N1

総合問題集

監修 佐々木 瑞枝 著者 石塚 京子／斎藤 誠／種村 政男／山口 久代

自分の弱点、完全攻略!

じ ぶん ジゃく てん かん ぜん ごう りやく

これ1冊で全分野をマスター

さつ ぜん ぶん や

理解を深める詳しい解説

り かい ふか くわ かい せつ

漢字の下に“ふりがな”つき

かん じ しした



CD2枚つき

1回で合格!

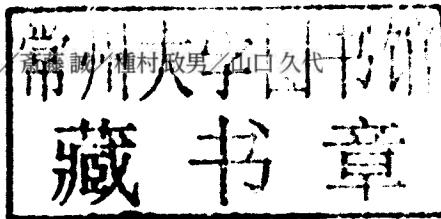
日本語能力試験

N1

総合問題集

監修 佐々木 瑞枝

著者 石塚 京子 / 斎藤 誠 / 稲村 政男 / 山口 久一



●監修者

佐々木瑞枝（ささきみずえ）

「日本語の世界」<http://www.nihonganosekai.com/>

山口大学教授、横浜国立大学教授を経て、武蔵野大学大学院教授、釜山外国语大学名誉博士。専門は日本語学、日本語教育学、日本文化論、異文化コミュニケーション論。エコールプランタン「日本語教師養成講座」講師、国際留学生協会理事、東芝国際交流財団審査委員、日本語センター学会会長などを務める。日本語教師を目指す人向けの講義・研修や、日本語学校へのアドバイスなどを行い、日本語の専門家としてメディア出演も多数。

○主な著書

監修:『日本留学試験実戦問題集 読解』『同 記述』『同 聴読解』

『日本語パワーアップ総合問題集 レベルA』『同 レベルB』『同 レベルC』(The Japan Times)

著書:『日本語を「外」から見る』(小学館)、『外国语としての日本語』(講談社現代新書)、『日本語センター辞典』(東京堂出版)
共著:『大学で学ぶためのアカデミック・ジャパンーズ』『大学で学ぶための日本語ライティング』(The Japan Times)

●著者

石塚京子（いしづかきょうこ）

埼玉大学国際交流センター、中央大学総合政策学部ほか非常勤講師

○主な著書

共著:『日本留学試験実戦問題集 読解』『同 聴読解』

『日本語パワーアップ総合問題集 レベルA』『同 レベルB』『同 レベルC』(The Japan Times)

『新装版 季節で学ぶ日本語』(アルク)

斎藤誠（さいとうまこと）

ボルドー第三大学日本語学部専任講師、エスパス・ラング東京日本語講師、東京国際大学付属日本語学校非常勤講師、ダマスカス大学日本語学科客員講師、江戸カルチャーセンター日本語学校非常勤講師などを歴任。

種村政男（たねむらまさお）

武藏野大学大学院留学生学習カウンセラー

山口久代（やまぐちひさよ）

ヒューマンアカデミー日本語学校非常勤講師

1回で合格!

日本語能力試験 N1 総合問題集

監修者 佐々木瑞枝

著者 石塚京子／斎藤 誠／種村政男／山口久代

発行者 高橋秀雄

編集者 山本恵理

発行所 高橋書店

〒112-0013 東京都文京区音羽1-26-1

編集 TEL 03-3943-4529 / FAX 03-3943-4047

販売 TEL 03-3943-4525 / FAX 03-3943-6591

振替 00110-0-350650

<http://www.takahashishoten.co.jp/>

ISBN978-4-471-27490-0

© TAKAHASHI SHOTEN Printed in Japan

定価はカバーに表示しております。本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁止されています。本書のいかなる電子複製も購入者の私的使用を除き一切認められておりません。

また本書および付属のディスクの内容を、小社の承諾を得ずに複製、転載、放送、上映することは法律で禁止されています。無断での改変や、第三者への譲渡、販売（パソコンによるネットワーク通信での提供なども含む）、貸与および再使用許諾も禁じます。

造本には細心の注意を払っておりますが万一、本書および付属品にページの順序間違い・抜けなど物理的欠陥があった場合は、不良事実を確認後お取り替えいたします。下記までご連絡のうえ、必ず本書と付属ディスクを併せて小社へご返送ください。ただし、古書店等で購入・入手された商品の交換には一切応じません。

※本書についての問合せ 土日・祝日・年末年始を除く平日9:00～17:30にお願いいたします。

内容・不良品／☎03-3943-4529(編集部)

在庫・ご注文／☎03-3943-4525(販売部)

※図書館の方へ 付属ディスクの貸出しは不可とし、視聴は館内に限らせていただいております。

目次

模擬テスト 解答用紙

はじめに

日本語能力試験について	8
本書の特長と使い方	12

1章 模擬テスト 13

問題	14
正解一覧	44
正解・解説	46

2章 言語知識 69

攻略のコツ	70
-------	----

【文字・語彙】

漢字読み	71
文脈規定	75
言い換え類義	79
用法	83

【文法】

文の文法 1 (文法形式の判断)	89
文の文法 2 (文の組み立て)	93
文章の文法	97

COLUMN 【気】って何？	104
-----------------------	-----

3章 読解 105

攻略のコツ	106
内容理解(短文)	108
内容理解(中文)	114
内容理解(長文)	126
統合理解	136
主張理解(長文)	148
情報検索	158
COLUMN 体の一部を使った表現	166

4章 聴解 167

攻略のコツ	168
課題理解	169
ポイント理解	178
概要理解	188
即時応答	195
統合理解	201

※転載文中の(注)および「ふりがな」は、本書が独自で入れているものです。

ナレーション／吉田浩二、春田ゆり
録音／財英語教育協議会(ELEC)

1回で合格!

日本語能力試験

N1

総合問題集

監修 佐々木 瑞枝 著者 石塚 京子／斎藤 誠／種村 政男／山口 久代

高橋書店

N1(模擬テスト) 言語知識 (文字・語彙・文法) • 讀解 解答用紙

問 題 1			
1	①	②	③
2	①	②	③
3	①	②	③
4	①	②	③
5	①	②	③
6	①	②	③
問 題 2			
7	①	②	③
8	①	②	③
9	①	②	③
10	①	②	③
11	①	②	③
12	①	②	③
13	①	②	③
問 題 3			
14	①	②	③
15	①	②	③
16	①	②	③
17	①	②	③
18	①	②	③
19	①	②	③
問 題 4			
20	①	②	③
21	①	②	③
22	①	②	③
23	①	②	③
24	①	②	③
25	①	②	③
問 題 5			
26	①	②	③
27	①	②	③
28	①	②	③
29	①	②	③
30	①	②	③
31	①	②	③
32	①	②	③
33	①	②	③
34	①	②	③
35	①	②	③
問 題 6			
36	①	②	③
37	①	②	③
38	①	②	③
39	①	②	③
40	①	②	③
問 題 7			
41	①	②	③
42	①	②	③
43	①	②	③
44	①	②	③
45	①	②	③
問 題 8			
46	①	②	③
47	①	②	③
48	①	②	③
49	①	②	③
問 題 9			
50	①	②	③
51	①	②	③
52	①	②	③
53	①	②	③
54	①	②	③
55	①	②	③
56	①	②	③
57	①	②	③
58	①	②	③
問 題 10			
59	①	②	③
60	①	②	③
61	①	②	③
62	①	②	③
問 題 11			
63	①	②	③
64	①	②	③
65	①	②	③
問 題 12			
66	①	②	③
67	①	②	③
68	①	②	③
69	①	②	③
問 題 13			
70	①	②	③
71	①	②	③

N1(模擬テスト) 聴解 解答用紙

< ちゅうい Notes >

1. くろいえんぴつ(HB、No.2)でかいてください。
Use a black medium soft (HB or No.2) pencil.

2. かきなおすときは、けしこムできれいに消してください。

Erase any unintended marks completely.

3. きたなくしたり、おったりしないでください。
Do not soil or bend this sheet.

4. マークれい
Marking examples

よい Correct	わるい Incorrect
●	✗✗○○⊗◐

問 題 5			
1	1	2	3
2	1	2	3
3	1	2	3

問 題 3			
1	1	2	3
2	1	2	3
3	1	2	3
4	1	2	3
5	1	2	3
6	1	2	3

問 題 4			
1	1	2	3
2	1	2	3
3	1	2	3
4	1	2	3
5	1	2	3
6	1	2	3
7	1	2	3

問 題 1			
1	1	2	3
2	1	2	3
3	1	2	3
4	1	2	3
5	1	2	3
6	1	2	3

はじめに

～確かな合格と日本語の上達を願って～

これから「日本語能力試験」N1を受験される皆さん、本番に向けてどのような勉強をされていますか。また、日本語学校などで指導されている先生方、N1試験の対策授業で苦労されていませんか。

この『1回で合格！ 日本語能力試験 N1 総合問題集』は、大学や日本語学校のベテラン講師が、日本語能力試験N1の出題傾向を分析した結果や、これまで指導してきた経験に基づいて執筆しています。問題を解いていくうちに「よく出る言葉」「よく出る問題」をつかめ、N1に必要な語彙や文法が自然にマスターできるようになっています。本書を通して、日本語の細かい言い回しや試験形式に慣れましょう。

初めの「模擬テスト」では、「試験の全体像を知る」「攻略法を知る」「自分の弱点を見つける」ことが重要です。その後、「言語知識」「読解」「聴解」といった分野別の問題を次々に解いていきましょう。各問題は正解と照らし合わせ、間違えていたら解説を何回も読み返してください。そして学習すると、きっと確かな日本語が身についていくことでしょう。合格はもちろん、単なる試験勉強に終わらない日本語の実力をつけていただくこと、それが私たちの願いです。

さあ、学習計画を立て、日本語能力試験N1にチャレンジしましょう。

佐々木瑞枝

目次

模擬テスト 解答用紙

はじめに

日本語能力試験について	8
本書の特長と使い方	12

1章 模擬テスト 13

問題	14
正解一覧	44
正解・解説	46

2章 言語知識 69

攻略のコツ	70
-------	----

【文字・語彙】

漢字読み	71
文脈規定	75
言い換え類義	79
用法	83

【文法】

文の文法 1 (文法形式の判断)	89
文の文法 2 (文の組み立て)	93
文章の文法	97

COLUMN 【気】って何？	104
-----------------------	-----

3章 読解 105

攻略のコツ	106
内容理解(短文)	108
内容理解(中文)	114
内容理解(長文)	126
統合理解	136
主張理解(長文)	148
情報検索	158
COLUMN 体の一部を使った表現	166

4章 聴解 167

攻略のコツ	168
課題理解	169
ポイント理解	178
概要理解	188
即時応答	195
統合理解	201

※転載文中の(注)および「ふりがな」は、本書が独自で入れているものです。

ナレーション／吉田浩二、春田ゆり
録音／財英語教育協議会(ELEC)

日本語能力試験に

について

日本語能力試験（JLPT）は、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し
認定する試験として、広く世界に普及しています。レベルはN1～N5の5段階で、
どのレベルも日本語に関する言語知識（文字・語彙・文法）と実際に運用できる
日本語能力（読解・聴解）を測ります。

試験は7月（N1～N3）と12月の年2回行われ、日本国内のほか海外でも受
験できます。2010年7月から試験内容が改定されました。

新試験 改定のポイント

①課題遂行のための言語コミュニケーション能力が測られる

日本語に関する知識だけでなく、実際に運用できる能力が重視されます。

②レベルが4段階（1～4級）から5段階（N1～N5）に増えた

N1では、より難しい内容まで問われるようになります。

③「得点等化」という方法で、各回の試験の難易度の公平性が保たれる

いつ試験を受けても、能力が同じ人なら、同じような点数をとるようになります。

④「日本語能力試験Can-doリスト」が作成・提供される

実際の場面で、日本語を使ってどのようなことができるかの目安となる表が作
られました。詳しくは10ページで説明しています。

試験科目と試験時間

N1はもっとも難しいレベルで、幅広い場面で使われる日本語を理解できる能力が求められます。

N1 得点区分 とくでん くぶん	問題数 もんだいすう	点数 てんすう	基準点 きじゅんてん	時間 じかん
言語知識 げんご ちしき (文字・語彙・文法) もじ ごい ぶんぽう	45問	0~60	19点	110分
読解 どっかい	26問	0~60	19点	
聴解 ちようかい	37問	0~60	19点	60分
総合 そうごう	108問	0~180	100点	170分

総合得点と基準点

合格するためには、①総合得点が100点以上であること、②各得点区分の得点が、それぞれ合格に必要な点(=基準点)以上であること、の二つを満たす必要があります。学習者の日本語能力を総合的に評価するため、基準点に達していない得点区分が一つでもあれば、総合得点がどんなに高くても不合格になります。

問題を解きながら試験に合格する力がつくよう工夫して作られた本書で、しっかり準備してください。

※試験の詳細は必ず、日本語能力試験ホームページ(<http://www.jlpt.jp/>)でご確認ください。
しょうさい かなら かくにん

課題遂行のための言語コミュニケーション能力

かだいすいこう

文字・語彙・文法といった言語知識をどう使えば課題を遂行できるかについての、コミュニケーション上の能力のことです。新しい日本語能力試験では、日本語に関する言語知識とともに、実際に使えるかどうかの運用能力が重視されます。

また、運用能力は「聞く」「話す」「読む」「書く」の四つの技能のうち、「聞く」「読む」という言語行動の能力を目安に認定されます。
め やす

日本語能力試験Can—Doリスト(仮称)

新しい日本語能力試験で提供され、それぞれのレベル(N1～N5)に合格したら、日本語を使って、日常の学校・職場・生活の場所など実際の場面でどのようなことができるかを示した表です。

合格者は、それぞれのレベルでどのような課題を遂行できるようになったかが具体的にわかります。また、学校や職場など合格者の周りの人はこの表を見ながら、それぞれのレベルに合った課題を与えることができます。

4つの技能に関するN1レベルの能力の目安

聞く	幅広い場面でのまとまりのある会話・ニュース・講義などを自然なスピードで聞いて、話の流れや内容を理解し、要旨を把握することができる。 はあく
話す	専門性のあるテーマに関して自分の考え方や意見を述べ、解説や説明をすることができる。また、場面に応じて適切な敬語を使い、話すことができる。
読む	新聞の論説・評論などの論理的な文章を読んでその構成や内容を理解し、また、幅広い話題に関する抽象的な文章を読んで話の流れや表現意図を理解することができる。 らんせつ ひょうろん ちゅうしょうてき ひょうげんいと
書く	感謝・謝罪・断りのような場面に応じて自分の感情を伝える手紙やメールを書くことができ、また、学校や職場において、テーマに沿ったレポートを書くことができる。

出題のねらい

試験科目 (試験時間)	大 問		小 問 数	ねらい
言語 知識 ・ 読解 (110分)	文 字 ・ 語 彙	1	漢字読み	6 漢字で書かれた語の読み方を問う
		2	文脈規定 <small>ぶんみやく きてい</small>	7 文脈によって意味的に規定される語が何であるかを問う
		3	言い換え類義 <small>かい るいぎ</small>	6 出題される語や表現と意味的に近い語や表現を問う
		4	用法	6 出題語が文の中でどのように使われるのかを問う
	文 法	5	文の文法1 (文法形式の判断) <small>はんじだん</small>	10 文の内容に合った文法形式かどうかを判断することができるかを問う
		6	文の文法2 (文の組み立て)	5 統語的に正しく、かつ、意味が通る文を組み立てができるかを問う
		7	文章の文法	5 文章の流れに合った文かどうかを判断することができるかを問う
	読 解	1	内容理解 (短文)	4 生活・仕事などいろいろな話題も含め、説明文や指示文など200字程度のテキストを読んで、内容が理解できるかを問う
		2	内容理解 (中文)	9 評論、解説、エッセイなど500字程度のテキストを読んで、因果関係や理由などが理解できるかを問う
		3	内容理解 (長文)	4 解説、エッセイ、小説など1000字程度のテキストを読んで、概要や筆者の考え方などが理解できるかを問う
		4	統合理解 <small>とうこう</small>	3 複数のテキスト(合計600字程度)を読み比べて比較・統合しながら理解できるかを問う
		5	主張理解 (長文)	4 社説、評論など抽象性・論理性のある1000字程度のテキストを読んで、全体として伝えようとしている主張や意見がつかめるかを問う
		6	情報検索 <small>けんさく</small>	2 広告、パンフレット、情報誌、ビジネス文書などの情報素材(700字程度)の中から必要な情報を探し出すことができるかを問う
聴解 (60分)		1	課題理解	6 まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できるかどうかを問う(具体的な課題解決に必要な情報を聞き取り、次に何をするのが適当か理解できるかを問う)
		2	ポイント理解	7 まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できるかどうかを問う(事前に示されている聞くべきことをふまえ、ポイントをしづらせて聞くことができるかを問う)
		3	概要理解 <small>がいよう</small>	6 まとまりのあるテキストを聞いて、内容が理解できるかどうかを問う(テキスト全体から話者の意図や主張などが理解できるかを問う)
		4	即時応答 <small>そくじ</small>	14 質問などの短い発話を聞いて、適切な応答が選択できるかを問う
		5	統合理解	4 長めのテキストを聞いて、複数の情報を比較・統合しながら、内容が理解できるかを問う

*「小問数」は毎回の試験で出題される目安で、実際の試験での出題数は多少異なる場合があります。

また、小問数は変更される場合があります。

*「読解」では、一つのテキスト(本文)に対して、複数の問題がある場合もあります。

本書の特長と使い方

本書の特長

●「試験の内容」と「自分の実力」がはじめにつかめる

この問題集は4章に分かれています。1章の模擬テストは、実際の試験と同じ形式と問題数で構成されています。2章～4章は、分野ごと（言語知識、読解、聴解）の練習問題になっています。1章でどんな問題が出るか、自分は何が苦手かがわかり、その後の学習につなげられます。確実に合格しましょう。

●答え合わせがすぐできる

すべての問題に解説があります。「問題」ページと「正解と解説」ページは近くにあって、使いやすくなっています。

●詳しい解説で、苦手なところを克服できる

間違えた問題や、解答に迷った問題は、この解説をよく読んでください。問題を解くコツ、重要な語句、間違えやすい表現などがまとめて覚えられます。

●難しい漢字の下に“ふりがな”つき

ふりがなを隠せば漢字の学習に役立ちます。

使い方

- ①まず、1章「模擬テスト」を、マークシート方式の解答用紙（p.3～4）を使って実際の試験時間（「言語知識・読解」110分、「聴解」60分）で解いてみてください。
- ②次に、正解一覧（p.46～47）を見て自己採点しましょう。その結果から言語知識、読解、聴解のうち、自分はどの形式の問題が苦手なのかを把握してください。それから、解説や聴解問題のスクリプトを読み、なぜ間違えたのかを確認しましょう。
- ③自分の弱点がわかったら、克服するために2章～4章の問題を徹底的に練習してください。このとき、苦手な問題形式から順に始めるのがいいでしょう。たとえば、「読解」分野の「統合理解」が苦手な場合は、最初に3章読解の統合理解（p.136～147）の問題を解きましょう。解説を参考にしながら勉強して十分自信がついたら、ほかの問題形式（「主張理解」など）に進むのがいい方法です。